

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

63号
2021
8.13

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



行事予定と今週ぜひ観ていただきたい植物の情報をお届けします！

※休園日は、年末年始(12/28~1/4)だけです。

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！見頃の植物情報を中心につぶやいています。



夏の早朝開園

○7月22日(木祝)~8月15日(日)

* 7:30から開園します

★涼しい早朝の植物園をお楽しみください!!

第5回 帰化植物展

○期間: 8月6日(金)~8月15日(日)

○場所: 植物園会館1階展示室

○内容: 「帰化植物の履歴書」

帰化植物の写真展示、解説文のパネル及び切花(生物教育会採集品)等の展示

夏休み子ども向け「食虫植物の展示」

○期間: 8月10日(火)~8月31日(火)

○場所: 観覧温室

○内容: 食虫植物展終了後も、食虫植物を展示します!

第60回 植物学習相談会

○日程: 8月14日(土)

【午前の部】9:00~12:00

【午後の部】13:00~16:00

○場所: 植物園会館2階研修室

○内容: 児童生徒が作成した標本など、植物に関する作品の仕上げ方等の指導及び相談

バラ栽培講習会

○8月21日(土) 13:00~15:00 (受付12:30~)

「バラの夏剪定の方法と目的」植物園会館2階研修室

※講師: 日本ばら会京都部会会員 *ばら園で実演有

※参加費: 200円(別途入園料が必要)

※定員: 先着60名

「水曜ミニガイド」植物園認定が 仆がご案内!

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「園長と園内散歩」

8月22日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!

植物園会館前集合: 午後2時スタート!

スマホdeガイド

QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! 「おすすめ樹木めぐり」「おすすめエリアガイド」などをスマホで確認し、植物観察!

芦生の森を未来につなぐために

○期間: 8月20日(金)~8月29日(日) 10:00~16:00

○場所: 【絵画展】植物園会館1階展示室

【写真展】植物園会館2階多目的室

○内容: 京都大学芦生研究林内の風景や植物などの絵画及び写真を展示

◆芦生の森を未来につなぐために 公開講演会

○日程: 8月29日(日) 13:30~16:30

※新型コロナウイルス感染状況を鑑み、オンライン開催

○内容: 芦生の天然林の希少性を伝えるとともに、芦生の森を守るための活動事例を紹介し、植物及び環境の保全意識の醸成を図る講演会(事前申込み)



第6回 水草展

○期間: 8月27日(金)~9月20日(月祝)

○場所: 植物園会館北側屋外周辺

○内容: 様々な水草を鉢で屋外展示

◆9/19(日) 水草展開連観覧会 ※雨天中止

植物園会館北側屋外周辺 13:00~15:00

(当日会場受付 12:50~、植物園会館前)

内容: 「水草展を楽しもう!!」※定員: 先着30名
担当職員が、水草展の会場を巡りながら、植物を解説し、ご案内します!

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は...

植物園会館前集合: 午後1時スタート!

「植物園ガイド」が植物案内!

~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先: 京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時

■ 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!

大人1000円 高校生750円

・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。

※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



今週の「探して！」
2021. 8. 13
63号

⑫ マンゴー

ウルシ科。北部インド～マレーシアに分布。インドでは4000年以上前から栽培が始まっており、仏教の経典にもその名が見られる。現在では500以上の品種が栽培されている。インド・メキシコ・フィリピン・タイ・オーストラリア・台湾が主産国。

⑪ サルスベリ

ミソハギ科。中国南部原産。樹皮がはがれたすべすべした幹肌で、「木登りの得意な猿でも滑って登れない」という和名の由来となった。別名の百日紅のとおり、花木の少ない夏の時期から秋口まで長期間にわたって花を付ける。

⑩ ウツボカズラ

ウツボカズラ科。東南アジアに分布する食虫植物。捕虫袋の形が矢を入れる筒型容器(うつぼ)に似ていることが名の由来。フタには蜜腺があり虫などを誘う。袋の中には消化液がたまっており、内側は滑りやすく、獲物を逃がさない。

⑨ 変化アサガオ

ヒルガオ科。アサガオの突然変異した種類を選んで交配させ、花と葉の形の珍しさを観賞。江戸時代から現代に受け継がれている伝統園芸植物。多くは遺伝的に弱いため維持・保存が困難だが、愛好家などによって継承されている。

① ジュラシック・ツリー

ナンヨウスギ科。1994年にオーストラリアのウォレマイ国立公園内の溪谷で発見。世界的には英名の「Wollemi Pine (ウォレマイ・パイン)」と呼ばれる。最も古い化石は約2億年前のもので、現存する最古の種子植物とされる。

② オジギソウ

マメ科。南アメリカ原産。日本へは江戸時代後期に持ち込まれたといわれている。接触、熱、風、振動といった刺激によって小葉が先端から一対ずつ順番に閉じて、最後に葉全体がやや下向きに垂れ下がる。その動作が名前の由来。

③ ヒョウタン

ウリ科。アフリカ原産。かんぴょうの原料であるユウガオの仲間。日本での栽培は古く「日本書紀」にも登場する。乾燥させた果実を水筒などの容器に使うなど、人々の生活との関わりは深い。丸いものや細長いものなど形状は様々である。

④ 賀茂ナス

ナス科。古くは、左京区吉田田中地区で栽培されていた。1910年代以降に、北区上賀茂、西賀茂付近の特産大型ナス品種として栽培されるようになったが、起源は明確でない。「京の伝統野菜」および「ブランド京野菜」に指定されている。

⑤ モミジアオイ

アオイ科。北アメリカ東南部原産。葉が指を開いた手のひらのような形でモミジに似ていることが、和名の由来。花は朝に開いてその日の夕方にはしぼんでしまい短命だが、葉の付け根に次々とつぼみを付け連続して咲き続ける。

⑥ オミナエシ

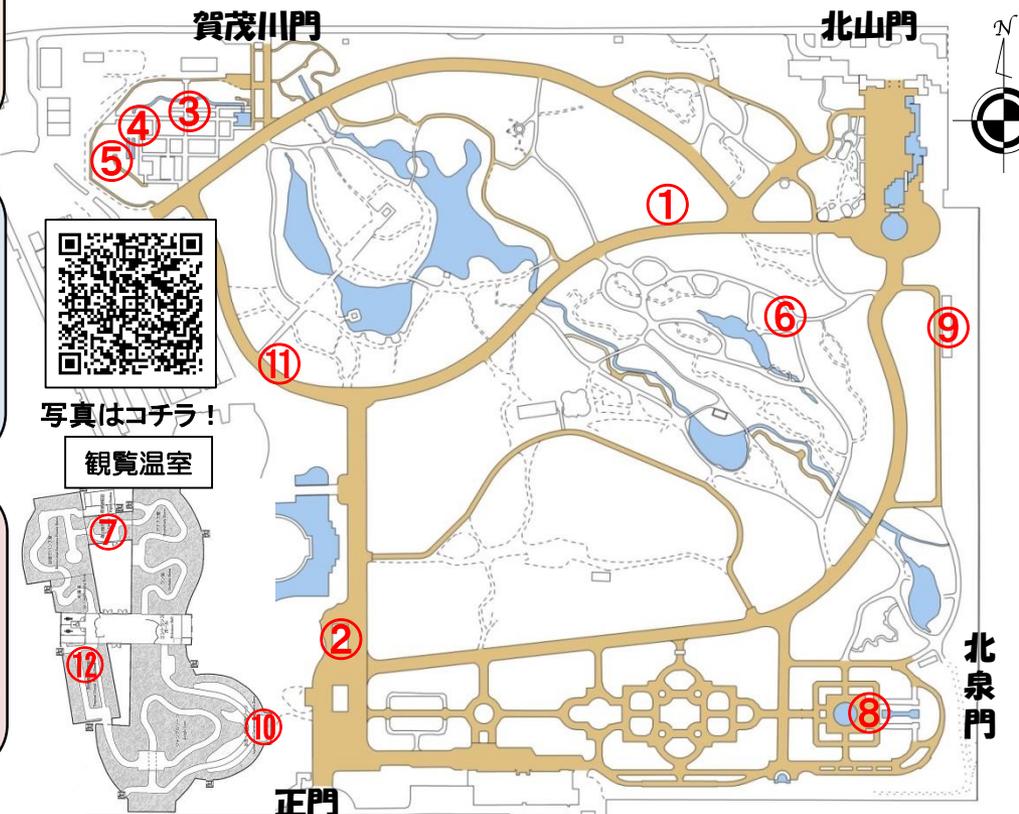
スイカズラ科。日本(沖縄除く)、中国、東シベリアに分布。「オミナ」とは女性、「エシ」とはへし(圧)、圧倒させるという意味。細くすらっと花茎を伸ばし、先端に可愛らしい花を咲かせる様子を美女をも圧倒する美しさだと名が付いたとの説も。

⑦ オニブキ

グンネラ科。ブラジル南東部のセーハ・ド・マール山脈に自生。葉柄の長さが1m以上、葉の直径が大きなものでは2m近く、草丈3mほどになり、「地上で最も巨大な葉を持つ植物」と称して、大阪花博などで日本に紹介された。

⑧ メランポディウム

キク科。メキシコを中心に分布。メランポディウムはギリシャ語の「melas(黒い)」と「podium(足)」が語源で、地際の茎、または根の部分が黒い種類があることに由来するとされる。暑さに非常に強いことが特徴で夏の花壇に最適。



写真はコチラ!

観覧温室